

ごあいさつ

「健幸都市こうし」の実現に向けて

新たな第2期基本計画の策定にあたり、全ての市民のみなさまが、健康で穏やかに、安全に、安心して暮らすことができるまち「健康都市こうし」をさらに進めるために、健康と併せて幸福を感じることができる合志市「健康幸福都市こうし（健幸都市こうし）」を目指し、より一層スピード感を持ち取り組みます。

本市は、人口が増加している県内でも数少ない自治体ではありますが、同時に福祉や教育に関する予算も急激に増えている自治体でもあります。少子高齢社会を迎えるわが国にあっては、人口減少に対する手厚い支援が行われておりますが、本市のように人口増加の著しい市町村に対する補助は少なく、自力で財源を確保しなければなりません。

このように財政事情が厳しい状況で、常に現状を把握しながら、中長期にわたる財政計画を立て、また見直しながら、将来の子どもたちにつけを残さない行財政運営に努める責任が私たちにはあります。今後はさらに、事業の優先順位を考えながら、市の将来を見越した事業への取り組みが必要です。特に「税収の確保」と「働く場の確保」を目指すため、新たな工業団地の整備を行っています。

また、老朽化する各種公共施設の維持管理については、「合志市公共施設等総合管理計画」に基づき、個別施設計画を策定しました。今後は、公共施設の集約化及び長寿命化について、最適な手法により実施していきます。

将来に引き継ぐ都市計画事業として、御代志土地区画整理事業の本格的な事業実施はもとより、北熊本スマートインターチェンジ開通に伴う地域周辺の活性化対策に取り組めます。

福祉の分野では、民間との連携をさらに強めて、市民一人ひとりが健康で豊かな生活を送り、人生を最後まで生き生きと過ごしていく「健康寿命」を伸ばす取り組みや、合志市の特性に合った健康づくりを推進します。

また、新設小中学校の建設と共に、人口の増加や就業環境の変化などに対応すべく、保育園の整備支援や放課後児童クラブの整備など、待機児童の解消を図るとともに、各年代にわたる、きめ細やかな行政サービスを展開していきます。

「令和」の時代になりましたが、これまで同様に、魅力ある合志市として認められ、さらにここに住む人が暮らしの豊かさを感じ、誇りを持てる「健幸都市こうし」に向け、市民・議会・行政が一体となって精力的に取り組めます。

最後に、計画の策定にあたって貴重なご意見やご指導をいただいた市民のみなさま、総合政策審議会委員、議会議員のみなさまをはじめ、多くの方々に対し心から厚くお礼を申し上げます。

令和2年3月

合志市長 荒木 義行

